

全国障害者問題研究会北海道支部 第47回支部学習会開催要項

入所施設で生活する障害者19人が殺害され、27人が重軽傷を負った、神奈川県相模原市での殺傷事件から10年が経過しました。当時、この事件発生の背景には、社会に根強く残る「優生思想」の存在が指摘され、犯人個人の特異な問題として矮小化させてはいけないという議論がかわされていました。

事件発生から10年を経た今日、私たちの地域や社会は障害のある人にとって、またすべての人々にとって、権利・人権が尊重され、健やかな発達が保障されるものになっているのでしょうか。

北海道の教育・福祉の現場から、「権利・人権と発達保障」についてみなさんと一緒に考えたいと思います。

○日 時：2026年10月4日(日) 10時～16時

○会 場：北海道高等学校教職員センター【オンライン併用】

地下鉄東西線・西11丁目駅から徒歩3分(札幌市中央区大通西12丁目)

○主 催：全国障害者問題研究会北海道支部

○定 員：会場70名、オンライン100名(※申し込み順)

○参加費：会員500円、非会員1,000円、障害当事者・学生500円

○プログラム

9:30	10:00	12:00	13:00～15:45	16:00～17:00
開 場 ・ 受 付	開 会	休 憩	シンポジウム	支 部 総 会
	記念講演 権利・人権と発達保障 藤井克徳さん (日本障害者協議会代表・きょうされん専務理事)		権利・人権と発達の 保障という視座から “北海道のいま”を考える	

前日企画

映画「マイペース マイスペース～ひきこもりソーシャルワーク」上映会

2026年10月3日(土)札幌市教育文化会館4階講堂(北1条西13丁目)

①上映10:30～11:30/トーク11:30～12:00 ②上映13:00～14:00/トーク14:00～14:30

③上映15:30～16:30/トーク16:30～17:00 ④上映18:00～19:00/トーク19:00～19:30

前売・予約：1000円 当日：1300円 全障研会員・札幌映画サークル会員・障害者・学生：800円

前売券・予約は、二通(メール:nitsu@mvg.biglobe.ne.jp 電話:090-2697-0496)へお願いします。

※満席の場合は当日券を販売いたしません。

○後援(申請中を含む)：北海道、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、社会福祉法人 北海道社会福祉協議会、(公財)日本教育公務員弘済会北海道支部

記念講演 10時～12時

「権利・人権と発達保障」

藤井 克徳さん(日本障害者協議会代表・きょうされん専務理事)



神奈川県相模原市の障害者施設で起きた痛ましい殺傷事件から10年が経過しました。藤井さんは、事件から半年後に刊行した著書『生きたかった―相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの』(大月書店)の中で、「この事件は現代日本社会の投影であり、障害者問題の縮図と位置付けていいのではないのでしょうか」と述べています。

私たちの生きる現代日本には、あらゆる場面において競争を通じて人びとを序列化し、無意識のうちに優劣をつける能力主義的な価値観が浸透しているといえます。たとえば教育では、全国学力・学習状況調査(いわゆる学力テスト)に関わる施策がもたらす教育の硬直化が、特別支援学級に在籍する児童生徒や不登校児童生徒の増加につながっていると考えられます。また福祉においては、十分な公費拠出がないまま事業所間の競争を促す制度になっているため、地域によっては利用者のニーズにあったサービスが届かず、その状況に合わせた生活や労働を強いられているケースが後を絶ちません。こうしたしわ寄せは、より立場の弱い人やその家族のところへと向かい、さまざまな人びとの生きづらさにつながっています。

殺傷事件加害者の供述によれば、施設利用者が「話せるか、話せないか」で加害対象を決めたといわれています。このように歪んだ障害者観もまた、この社会のなかで形成されたものであり、そこに生きる私たちも無関係ではありません。

2014年、日本は障害者権利条約を批准し、あらゆる分野における障害の有無を超えた平等の実現を目指してきました。しかし現実の歩みは遅く、理想にはまだ遠い状況です。

藤井さんは、あらゆる場面において、この障害者条約を羅針盤にして「社会のあり方を障害の視点から問い直そう」と訴えています。1981年の国際障害者年の決議文にあり、藤井さんの著書のタイトルにもなった「障害者をしめ出す社会は弱く脆い」という言葉。今、あらためてこの言葉の意味を分野・領域を超えてみなさんと考え合う機会にしたいと考えています。

●藤井克徳さんのプロフィール

1949年生まれ、福井県出身。日本障害者協議会代表、きょうされん専務理事。青森県立盲学校高等部を卒業後、東京都立小平養護学校勤務を経て、障害者が集い、働く「あさやけ作業所」の設置などに参加。1977年、きょうされん(旧称:共同作業所全国連絡会)を結成し、障害者団体のリーダーとして活動している。著書に『障害者をしめ出す社会は弱くもろい』(全障研出版部、2017年)、『「もっと生きたかった」やまゆり園事件と人権』(自治体研究者、2025年)、『障害のある人と優生思想』(JDブックレット、2019年)などがある。

シンポジウム 13時～15時45分

権利・人権と発達の保障という視座から “北海道のいま”を考える

3人の方から話題提供をいただき、参加者のみなさんとともに“北海道のいま”について考えます。

話題提供①

「恵庭市障害者虐待隠ぺい事件」の経過と現状

船山 暁子 さん(恵庭市障害者虐待隠ぺい事件弁護団長)

2023年から続くこの裁判は、知的障害者3人が、「恵庭市の牧場において、数十年にわたり、給料を支払われず、障害基礎年金を横領され、劣悪な環境の中、住み込みで働かされていたという経済的虐待を受けた。また、恵庭市は事実を知らながら対応を怠った」として、合計約9400万円の損害賠償の支払いを求めているものです。この4月、原告と恵庭市との和解協議が決裂しました。決裂した理由は、原告側が求めた「責任」の文言を入れることを恵庭市側が拒否したためです。いまだに繰り返される障害者への虐待。この裁判は、単に損害賠償を求めるというものではなく、虐待を引き起こす社会的な問題や行政の責任のあり方を問い、障害者の尊厳を守るという日本社会の意志を確認するものでもあります。原告の一人は、この裁判は「みんなのため」のものであると話しています。この事件の内容、裁判の現状とその意義について報告していただき、考え合いたいと思います。

話題提供②

“特別支援学級における不適切指導”という問題から見てきた教育の今日的課題

二通 諭 さん(札幌学院大学名誉教授・元特別支援学級教員)

近年、急浮上してきた特別支援学級における不適切指導の背景には何があるのでしょうか。そもそも、特別支援教育の依って立つ理念、方法の獲得なしに、不適切指導を克服できません。教育的愛情と情熱、使命感に優れていたとしても“子ども理解の力”を身につけていなければ、その実践は時に“不適切指導”に転化する可能性があります。二通さんは、不適切指導という問題に触発されて、現在「発達保障論の基本を学ぶ会」を月1回ペースで開いており、そこでの議論を踏まえて皆さんと考え合いたいと思います。

話題提供③

定時制・通信制高校で学ぶ青年と「学校」

伊藤 政伸 さん(恵庭南高校定時制教諭・北海道高等学校教職員組合定時制通信制部部長)

現在、定時制・通信制高校は、高校教育における最後のセーフティネットとしての性質を強めています。不登校を経験した生徒や中学までは特別支援学級に在籍した生徒の割合が増加し、被虐待や貧困などの逆境的体験を持つ生徒も散見されます。教育的ニーズの多様化が進むなか、対応するための教員配置を含む、基礎的環境整備の進捗状況は十分とはいえません。一方、中学までは不登校だった生徒が学校生活を楽しみ、コミュニケーションが苦手とされた生徒が集団のなかで活躍する姿も見られます。定時制・通信制高校の現状をご報告いただき、青年期にある人たちの権利・人権と発達保障についてみなさんと考えます。

コーディネーター 戸田 竜也 さん(北海道教育大学釧路校)

会場参加／オンライン参加ともに 事前の申し込みをお願いします

参加申し込みの方法

次のどちらか1つを選び、参加申し込みをお願いします。



①Peatix(ピーティックス)を利用する

<https://x.gd/UK9Wo>

※上記URL(右のQRコードも同じ)にアクセス後、画面右側の「チケットを申し込む」をクリックし、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

②メールで申し込む

zensyoken54@gmail.com に「第47回支部学習会参加申し込み」と記載したメールをお送りください。

※メールで参加申し込みをされる際には、以下の6項目を忘れずに記載してください。

- ①氏名、②参加区分(会員・一般・障害当事者・学生)、③所属、④連絡先、⑤参加する企画(終日参加・記念講演のみ・シンポジウムのみ)、⑥参加方法(会場参加・オンライン参加)

参加費の支払い方法

次の3つから1つを選んでください。

- ①Peatixで指示された方法(クレジットカード・コンビニ払い)で決済する。
- ②当日、会場で現金で支払う。
- ③郵便振替で支払う。※振込手数料はご負担ください。

郵便振替：02720-7-16858 全国障害者問題研究会北海道支部

【重要！】オンラインでの参加を希望される方へ

- ・オンライン会議システム「Zoom」を使用して参加することができます。
 - ・接続先のURL等は、申し込み時に入力していただいたメールアドレスにお知らせします(5日前をめど)。
 - ・お手元のパソコン、タブレット等にZoomのアプリを入れておいてください。
- ※インターネットの接続環境等によっては、音声や映像に不具合が生じる可能性があります。予めご容赦ください。

○お問い合わせ

全国障害者問題研究会北海道支部 支部学習会事務局

メール：zensyoken54@gmail.com